

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] ホスピス・緩和ケアにおける評価尺度 Integrated Palliative care Outcome Scale (以下、IPOS) を用いた口腔内有害事象についての検討

[研究責任者] 橋本淳、藤浪恒、藤光康信、佐藤尚子、西嶋久美子

[研究の背景] 当院緩和ケア病棟では入院患者に対して IPOS を用いて苦痛症状の評価を行っている。IPOS の評価項目には「口の痛みや渇き」という項目が含まれており、化学療法後の副作用や経口食事摂取困難等の理由で 8 割以上の場合で口腔内有害事象が生じると言われている。また、当院では緩和ケア病棟入院患者に対して歯科口腔外科チームにより定期的に口腔ケアを行っている。そこで IPOS を用いて口腔内有害事象を中心に検討を行った。

[研究の目的]

当院緩和ケア病棟入院患者の口腔内有害事象について検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

緩和ケア病棟入院中の患者さんで、西暦 2021 年 4 月 1 日から西暦 2022 年 3 月 31 日の間に IPOS 評価を受けた方

●研究期間：西暦 2022 年 8 月 26 日から西暦 2022 年 11 月 11 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：なし（通常の診療で使用した検査結果を使用し、研究のためだけの検査は行いません。）

カルテ情報：年齢、性別、診断名、身体所見、IPOS 評価、食事摂取状況、嚥下評価、口腔評価尺度 OHAT (Oral Health Assessment Tool) 評価

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発

表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である鈴木健太が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

歯科口腔外科 研修医 鈴木健太

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913